

# ON!

**Old but New**

伝統を残しながら、変わり続ける街  
大手町・丸の内・有楽町の  
街づくりを発信する情報誌

**LOHASのある街。**  
LOHAS is alive in this town

2004 AUTUMN

**003**

丸の内トラストタワーN館の屋上緑化。中央に見えるのは丸ビル。右隣が9月に竣工した「丸の内OAZO」、奥が「三菱信託銀行本店ビル」。



写真は丸ノ内カフェ。窓際に見えるのがエコ・プラント(本文参照)

## ヨガや有機野菜だけじゃない。 街にもLOHASがある。

LOHAS(ロハス)という耳慣れない言葉が、最近あちこちで囁かれはじめています。  
LOHASとは、Lifestyle of Health and Sustainabilityの略。  
環境と健康を最優先し、持続可能な社会のあり方を目指すアメリカ発のライフスタイルのこと。  
雑誌などではヨガやリラクゼーション、有機野菜の食事などもっばら個人のライフスタイルとして取り上げられているが、  
実は社会の環境整備やマーケティングにまで影響する大きなムーブメント。  
そして、その思想は大手町・丸の内・有楽町の街づくりの思想とも深く共鳴している。  
「ON!」の第3号ではLOHASという視点から街づくりを探ってみた。

## LOHAS is alive in this town



## 01 GREEN BUILDING

ビルの緑化で快適な都市づくり。

東京駅の目の前にあるビルの屋上に緑の草原を発見。といっても残念ながら一般の人は見る事ができない。これは各ビルがヒートアイランド対策や大気浄化を目的に実施している屋上緑化。しかし、屋上は植物を育てるには過酷な環境。そのため砂漠で生育している多肉植物のセダム等を植えている。東京駅日本橋口前の丸の内トラストタワーN館の屋上ではセダムの他、ハーブの仲間であるローズマリーも実験的に栽培している。また、有楽町駅前の東京交通会館には四季の草花を楽しめる屋上庭園「有楽町コリーヌ」が一般公開されている。

写真(右):屋上庭園「有楽町コリーヌ」。まさに都会の中のオアシス。2003年10月に第2回屋上・壁面・特殊緑化技術コンクールの「日本経済新聞社賞(屋上緑化部門)」を受賞。開園時間:午前10時~午後9時 入場無料  
写真(下):丸ビルの屋上緑化。



## 02 ENERGY SAVING

地域の丸ごと冷暖房で省エネを実現する。

大手町・丸の内・有楽町地区のビルを眺めてみると、ビルの上に暖房用のボイラーの煙突や冷房用の冷却塔がないのにお気づきだろうか? これは、地域冷暖房を実施しているから。地域冷暖房とは、冷暖房設備を1ヵ所に集中し、地域内の各ビルに冷熱・温熱を供給するシステム。個別に冷暖房を行うより効率化が図れ、約12%も省エネ化を実現。さらに良質な燃料を使用し効率的な運転をすることで大気汚染も防止した。地域冷暖房を始めてから、周辺の緑も甦ってきたとか。また、各ビルの屋上などに設置していた冷暖房設備が不要になるので、空いたスペースを屋上緑化などに活用できる。欧米に比べ日本ではまだ普及が遅れているが、このエリアでは30年前から始まっている。

●丸の内熱供給株式会社のホームページ <http://www.marunetu.co.jp>

写真(右):各エリア毎に暖房を供給する蒸気管。  
写真(右下):地域冷暖房のシステム概略図  
写真(下):プラントで製造した6~7°Cの冷水、175°Cの蒸気をそれぞれトンネルを通じてパイプで各ビルへ送る。

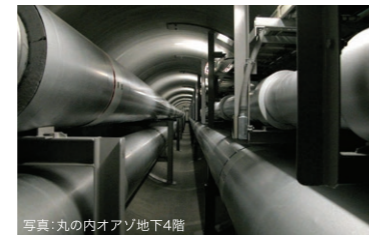
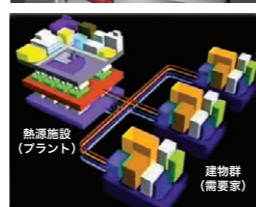
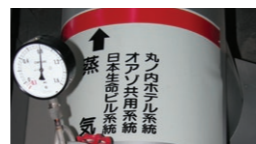


写真:丸の内オアゾ地下4階

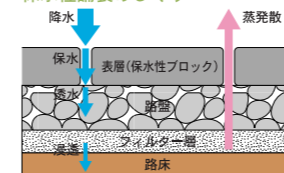


## 03 COOL PAVEMENT

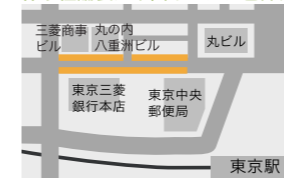
真夏でも快適な涼しい歩道。

丸の内・大名小路の三菱商事ビルと丸の内八重洲ビル前の歩道にご注目。ここの舗装には保水性ブロックが使われている。保水性ブロックの内部には多数の細かい蜂の巣状の穴があいていて、雨水などが吸水され、長時間保水される。保水された雨水は時間をかけて蒸発し、その気化熱により路面温度の上昇を抑制。これにより都市のヒートアイランド現象の緩和が期待されている。また、雨の日でも水はねや水しぶきが少ないという利点もある。こうした試みによって、快適な都市づくりが進むことを期待したい。

保水性舗装のしくみ



保水性舗装は下図オレンジ色部分



## 04 ECO-VEHICLES

LOHASな街は、環境に優しい乗り物で移動しよう。

この街を移動するには巡回バス「丸の内シャトル」が便利。東京国際フォーラムからパレスホテルなどを回る一周30分のルートをも、10時から20時まで2台のバスが15分間隔で運行中。地元企業の協賛により無料で利用できる。マイクロガスタービンとバッテリーを組み合わせたハイブリッド方式の電気バスなので「低公害」「低騒音」「低床」。お買い物や、観光、ビジネスの足に最適。もっと環境に優しい乗り物で、という方はレンタルサイクルを利用しては? 「無印良品 有楽町店」では自転車を貸し出している。お買い物や散策を気軽に楽しめる自転車だが、駐輪場の設置や歩行者との共生などが今後の課題だ。



●丸の内シャトル(無料)  
<http://www.hinomaru.co.jp/metrolink/marunouchi/index.html>

●無印良品 有楽町店レンタルサイクル(有料)  
03-5208-8241  
平日 1日525円(土・日・祝日 1,050円)  
<http://www.mujiyurakucho.com/information.asp>



## 05 ECO PLANTS

NASAが研究したエコプラントで空気もデリシヤス、「丸の内カフェ」。



「MARUNOUCHI CAFE」の店内には、(株)竹中庭園緑化の協力により、NASAで研究された室内空気を浄化する働きがある観葉植物(エコプラント®)がある。植物の生育と消臭に効果がある特殊土壌(エコド®)を組み合わせたエコロジーガーデン®として、よりよい室内環境を実現している。ちなみにエコド®は企業から出る書類を収集・処理し、その紙をリサイクルすることによって作られる。

●MARUNOUCHI CAFE 千代田区丸の内3-3-1新東京ビル 03-3212-5025  
<http://www.marunouchicafe.com/>

## 06 OFFICE RELAXATION

オフィスにLOHASな空間。



郵船ビルと丸ビルにオフィスを構える最先端の金融・経済総合情報メディア企業、ブルームバーク。24時間休むことがないオフィスの中に、社員のためのリフレッシュメントコーナーがある。熱帯魚が泳ぐ大きな水槽が気持ちをリラックス。飲み物やスナック、フルーツが用意されていて、社員はここでリフレッシュできる。さすがLOHASの先進国のアメリカ流。日本のオフィスも見習いたいもの。

●ブルームバーク <http://www.bloomberg.co.jp/>

## 07 RECYCLING

捨てればゴミ、活かせば資源！  
ホテルが取り組む生ゴミリサイクル事業。



写真:商品化された有機肥料「エコパレス」(左)と「エコパレス米」(右)。

パレスホテルの生ゴミリサイクルは、スープを採ったあとに大量に出る鶏ガラをバイオ発酵機で処理してペットフードの原料にしたのが始まり。今ではレストランから出る生ゴミを敷地内で処理し、「エコパレス」という商品名の有機肥料を生産するまでになった。そしてこの「エコパレス」を使用し、茨城県の農家などで米や果物を生産を依頼。収穫物はホテル内のレストランで使用している。捨てていた生ゴミを有価物に変え、環境にも人にもやさしい取り組みは、着手より10年をかけて見事に実を結んでいる。なお、有機肥料「エコパレス」はホテル地下1階の花屋で販売中。(1袋500g入り105円)

●パレスホテル 03-3211-5211 <http://www.palacehotel.co.jp/>

## 08 INTERVIEW \* Julian Dowle



「美しく造園され、愛情を込めて手入れされた庭園は、完璧な心の癒しを与えてくれます。」

ガーデンデザイナー ジュリアン・ドウル

私は小さな子どもの頃から植物と庭園に興味を持っていました。8歳のときに、私は岩だらけの崖に登り、そこで自然がどのようにして、そこに植物たちを集めたかという、岩と植物の関係を学びました。

学校を卒業すると、私は園芸を研究し、景観デザインを学びました。それは、今から40年も前のことです。私はそれ以来、ずっと庭園と景観のデザインを続けています。

私は、ある場所を美しく変えて、人々を幸せにするこの仕事を心から楽しんでます。それは、自然の美しさに満たされた仕事なのです。今回のガーデンショーは、英国式庭園を街路に作るという大きな試みです。巨大なビルディングが建ち並ぶ中に、街路に色彩と幸福をもたらす“東京ガーデンジュエリー2004”という庭園が開くのです。今回の庭園は歩道に一時的に造られるものですが、土壌と植物に気を配りながらデザインするつもりです。その小さな庭園は、興味深く、カラフルで、英国の香りが漂い、心が安らぐもので、なによりも皆さんが楽しんでいただけることを私は願っています。

多忙な都市の中で小さな緑のスペースは、街路に新鮮な空気をおくりこむことでしょう。

私は、皆さんがこの庭園を訪れ、忙しい毎日の中で静かで平穏なひと

きを過ごすことを願っています。そして、このガーデンショーから帰るときには前よりも素晴らしい気分になっていることを。

右写真:ヨークシャーでの作品。チェルシー・フラワーショーで金賞を受賞。



丸の内仲通りで緑の庭園の作品展。

東京ガーデンジュエリー2004  
丸の内仲通りガーデニングショー  
2004年10月16日(土)~10月24日(日)

英国のガーデンデザイナーの第一人者、ドウル氏が丸ビル前と有楽町電気ビル前に「英国風の和み」の空間を演出。さらに国内のコンペを通過した作家たちが仲通りをキャンパスに「椅子と緑のある空間」を庭園で表現する。日比谷公園ガーデニングショー2004も同時開催。  
入場無料 実行委員会事務局 03-3267-4855

ジュリアン・ドウル氏

英国出身。世界的な高い評価を受けているガーデンデザインの巨匠。チェルシー・フラワーショーをはじめ数々のコンテストでの受賞も多数。昨年は日比谷公園に作品を出展したが、今回は丸の内をドウル氏の作品が飾る。

# T O P I C S

## 丸の内オアゾ(OAZO) 9月14日グランドオープン。

大丸有地区に新たな街が誕生した。商業、ホテル、オフィスからなる複合街区丸の内オアゾ(OAZO)である。「OAZO」はエスペラント語で「オアシス」「憩いの地」を意味するが、また「丸の内(O:マル)と大手町(O:オー)の間で何でも揃う(A~Z)」という意味も込められている。本街区の商業部分には、都内最大規模の書店「丸善丸の内本店」をはじめ、物販9店舗、飲食36店舗、サービスクリニック11店舗が登場している。



東京駅丸の内北口前に生まれたこの街区は、大丸有地区に新しい賑わいをもたらした。

## 永楽小径が「公共の色彩賞」受賞。



「公共の色彩賞」は「公共の色彩を考える会」が主催し、各地域における優れた環境色彩を顕彰するものだ。本年5月、三菱信託銀行本店ビル北側に位置し、壁面緑化された貫通道路である永楽小径(えいらくこみち)が第19回「公共の色彩賞 一環境色彩10選」に選ばれた。選評では、「周辺との調和」「創造性と社会的責任」において特に評価したい、等のコメントが寄せられている。(丸の内シャトルバスも今回同時に受賞)

## 丸の内MY PLAZA 9月17日グランドオープン。

この建物は商業ゾーン(地上3階～地下2階)とオフィスゾーン(地上30階～地下4階)で構成され、明治安田生命の本社機能、オフィス・商

業テナントが入居する。隣接する重要文化財の明治生命館を含めた街区愛称は「丸の内MY PLAZA」。当街区を利用する全ての人に「私の(MY)広場(PLAZA)」として親しみを持ち、楽しんでいただきたいと願いが込められている。さる9月17日、商業ゾーンが盛大にグランドオープンした。



## 本誌持参の方は、丸の内地区の 美術館で入館料が割引に。

相田みつを美術館・出光美術館・東京ステーションギャラリー(50音順)のご協力により、本誌持参の方(1冊で1名)に入館料を割引いたします。

- 相田みつを美術館・出光美術館  
入館料を200円割引(1月末日まで)  
\*相田みつを美術館の小学生料金は100円割引
- 東京ステーションギャラリー  
大人に限り入館料を100円割引(1月23日まで)



発行：大手町・丸の内・有楽町地区  
再開発計画推進協議会

〒100-8133 東京都千代田区大手町1-6-1

大手町ビル635区

TEL.03-3287-6181 FAX.03-3211-4367

ホームページ <http://www.lares.dti.ne.jp/~tcc/>

## ●編集後記

“街づくりをやさしく、柔らかく”をテーマとする「ON!」も今回で3号目。表紙の写真が実は「東京駅の隣」という事実には驚いていただけたのでは？超都心における、環境への“知られざるこだわり”を今号では取り上げました。今回から編集スタッフに女

性陣が4名加わり、女性の目から見た街づくりも伝えていきたいと思えます。ご意見、ご要望を下記までお寄せください。またこれまでの3号全部手に取られた方、ぜひご感想をお寄せください。  
e-mail: [tcc@lares.dti.ne.jp](mailto:tcc@lares.dti.ne.jp)